



長丘っ子

中野市立 長丘小学校

〒383-0061 長野県中野市壁田 1572
TEL 0269-22-3642 FAX 0269-22-8347
mail nagaoka@nakano-ngn.ed.jp
HP <http://nagaoka.nakano-ngn.ed.jp>

平成24年12月27日(木)
学校だより No.8



二学期無事に終了しました

本日で二学期が終了しました。今学期はPTAのみなさまをはじめ、地域の方々にもご協力ご声援いただいた運動会や音楽会、高社中校区の学校職員や関係諸団体を招いての人権教育研究会の開催など、大きな行事がいくつもありました。そのような行事や活動を通して子どもたちの育ちを目にし、地域に支えられた学校であることを実感いたしました。

学校現場は学力向上、個別支援、いじめ不登校問題など、課題が山積しています。先の見通しのできにくい混沌とした社会情勢の中で、学校に課せられた責務は年々累積していく感があります。しかし、長丘小はPTA・地域の方々から寄せられるご支援とご協力に並みならぬものがあり、私たち職員は堅固たる連携をもって教育活動に専心させていただくことができました。常々耳にする「長丘教育」の真髄は、この「地域力」から発するものに違いないと確信した一年でもありました。

年末に入り、感染性の疾病の猛威が伝えられています。冬休みには体調管理にも十分ご留意いただき、良き新年を迎えられますようご祈念申し上げます。

二学期終業式「3つの目標を振り返って」 山崎校長先生のお話より

今、3つの学年から発表がありました。2年生はかけざんとなわとび、3年は遠足やリンゴの栽培、5年は海の学習やスポーツ天国、米作りなどについて、工夫した発表をしてくれました。聞いている人にわかるように発表することが大切ですね。

さて、3つの目標を覚えていますか。1つ目は「すすんであいさつ」でした。毎朝、私が学校近くのところに立っていると元気なあいさつをしてくれる人がいてうれしくなります。なかには、停まってくれた車の人に振り返ってお礼を言っている人もいます。ある班では（まゆりさんのグループだそうです）、全員そろってあいさつをしていました。運転している人も明るくうれしい気持ちになったことでしょう。

2つ目は「よいとこみつけ」です。なかよしの木には、たくさんの木の実やはっぱがつかまりました。「どんなところで、こんなふうががんばっている」というメッセージがたくさんよせられています。

3つ目は「しっかり聞く話す聞く」ですね。11/28に北部人権教育研究大会がこの学校でありました。参加した先生方から「長丘小の子どもたちは聞くこと、話すことがとてもよくできている」という感想が多くありました。友だちの話をよく聞いたり、自分の考えを話したりするみなさんの姿をほめていただいたものです。

さて、二学期は運動会や音楽会など、たくさんのことがありました。うまくできたこと、失敗したこと、仲良くできたこと、けんかしたこと、そういうことを合わせてみんなで成長していくことが大切ですね。

ところでみなさん、ノーベル賞を受賞した山中伸弥教授を知っていますか。IPS細胞の発見によってノーベル生理医学賞を受賞しました。山中教授は、成功するために2つのことを考えていると述べています。一つはV (Vision)、もう一つはW (Work)。自分の目標をしっかりとって、働いたり勉強したりすることが大切だということです。

明日からは、冬休みです。楽しいお休みですが、きまりのよい生活をして、三学期、また元気に会いましょう。よいお年をお迎えください。



子どもの生活から トピックス



H25.12.25 衣装を整え、トーンチャイムで「きよこのよる」を演奏しました。指揮はもちろん、小林先生。すばらしい音色にうっとり。音楽集会のひとこまです。

上左 H24.11.16
人権教育参観日には大根売りの「やまちゃん」が出店し売り子のおかあさんも大活躍。また第2回のリサイクル事業も大好評でした。

上右 H24.11.16
ハロウィンパーティーを楽しむ子どもたち。変装はバラエティーに富んでいます。シスター姿は、教育実習生の小林先生です。



H24.12.26 藤澤建設さんに除雪していただきました。長丘地区も結構雪が降ります。

冬場を迎えて田麦地区では融雪装置が故障してしまったそうです。そのため、除雪車対応ということになりました。降雪時には除雪車や通行車両に十分気をつけて歩くよう、田麦方面のご家庭は、特にご注意ください。他地区でも雪道の歩き方については、日頃からご注意ください。

冬道の交通安全に注意を

寸暇筆休

其の3

あなたまかせ

24日の日曜日、イブの大雪はクリスマス寒波の影響だとか。それにしても、クリスマス寒波とはよく言ったもの。これが年の瀬寒波とか、年末寒波だとかでは、あわただしさに追い打ちをかけられるようで恨めしさが残る。クリスマス寒波だから許す気にもなろうというもの。White Christmasの語感に、ロマンチックで妙に感傷的な気分を呼びさまされるのは私だけではないと思うのだが…

しんと降り積もる雪を見て、いみじくも家人がポツリ。

これがまあ終(つひ)の栖(すみか)か雪五尺

ちょっとまってよ。いきなりそれですか。確かに

雪散るやおどけもいへぬ信濃空

と、冗談では済まされぬ本降りに、思わず天を仰ぎたくもなる。

「雪がどんなに降ってもいつかは晴れるさ」と、誰人いわく。なるほど、いつまでも続きはしない雪の宴。一昨日はしゃきっと晴れ渡り、木々の枝に張り付く氷が輝いていた。夜には街灯りを天に映し出したかのような星の数。

うつくしや年暮れきりし夜の空

冬の星座を目にして心は天空を駆け廻る。

こまで一茶の俳句を並べれば、留めの一句はこれしかない。

ともかくもあなたまかせの年の暮

この句意は、他力本願の一茶ならではの句と評するものもあるが、実は「あなた」というのは仏をさしているのだとか。

「いろいろあったがこまで無事に過ごすことができた。この年の暮れはすべてを仏さまにお任せして、新しい年をお迎えしよう」という殊勝な心持で詠んだ句であるそうだ。

「あなたまかせ」は一茶が好んだ言葉。神仏が一気にやってくる歳の瀬、一茶の境涯には程遠いと思いつつも「あなた」を「すべてのもの」にと置き換えて、無事二学期が終わろうとしていることに感謝したい。